

あひるのチャレンジ

令和8年4月23日



昨日、避難訓練がありました。「お(押さない)・は(走らない)・し(しゃべらない)・も(戻らない)」を意識するとともに、口をハンカチでおおう等、真剣に取り組んでいました。集合してからも、おしゃべりしたり、小石で遊んだりする子どもも少なく、良い訓練となりました。

自分の命を守るためにも「人の話をきく」

その時に、子どもたちに話した趣旨は、以下の通りです。

「何かあった時、先生たちはみなさんを全力で守ります。その時に、先生の指示を聞いて行動することができるように、日頃から『人の話をきく』ようにしてください。それが、自分の命を守ることに繋がります。」

明日の学習参観で、話をきいているかご確認ください

お子様が、学校で「先生や友達の話の話をきいているか」は、明日の学習参観でお確かめください。きいていたら褒めてあげてください。

地域の方の話もきく

27日(月)の児童朝会に、見守り隊の方に来ていただきます。毎朝、安全に登校できるように見守っていただいていることに感謝の気持ちをもつこと、教職員や保護者だけでなく、見守り隊(地域)の方の話もしっかり聞くことを伝える予定です。

昨日は、火災を想定した訓練でしたが、先日、東北地方で地震があったように、自然災害はいつ起こるか分かりません。登下校中かもしれません。放課後や休日に公園で遊んでいる時かもしれません。

いつでも安全に過ごすため、自分の命を守るためには、地域の方の話もしっかりきくことができるようになっておく必要があります。

いつでも、どこでも、誰であっても「あひる」の「ひ」

「あひる」の「ひ」。「人の話をきく」ことは、自分の命を守るために必要です。

ご家庭でも改めて、お話してください。よろしく申し上げます。